

いい徳島・カモン！
目指せ！「オンリーワンとくしまの実現！」

飯泉嘉門(いいずみ・かもん)の

カモン・マニフェスト

m a n i f e s t o



1. 「マニフェスト」とは、イギリスにおいて、二大政党が互いに国家的規模で政策を戦わせるための壮大な政策綱領であり、これまで、日本では国、地方を通じて用いられなかった手法です。

2. しかし、今日、国及び地方政治においても、本来、政治家の命ともいうべき公約が軽んじられる傾向が強く、マニフェストの導入が注目を浴びております。

3. その利点は、

政策の大要が、有権者の皆さんにとって選択権の行使である選挙の前にきちんと明らかにされる。

単なる人気とりだけの矛盾だらけの政策となる危険性が回避される。

この2点にあります。

4. 私は、ここに、県民の皆さんに対して、公約を着実に実行に移すための道筋を「カモン・マニフェスト」として、ご提示させていただきました。

県民の皆さんからの、ご意見、ご提言をお願い申し上げます。

1. 清潔感と自信みなぎる「オープンとくしま」の実現

(政治手法、汚職再発防止、行財政改革)

優先
課題

2. 経済活き活き、雇用はつらつ「経済再生とくしま」の実現

(緊急経済・雇用対策)

優先
課題

3. 豊富な自然環境を活かした、世界に誇れる「環境首都とくしま」の実現

(環境対策)

4. 南海地震対策をはじめ安心して暮らせる「安全・安心とくしま」の実現

(危機管理、食の安全、介護・障害者対策)

5. 子どものびのび、文化の香り漂う「いやしの国とくしま」の実現

(教育、子育て、文化振興)

6. 年代、性別などを問わず、はつらつと生活できる「ユニバーサルとくしま」の実現

(男女共同参画、元気老人対策、新たな公共事業)

7. 地域の個性を伸ばし、都市部・中山間地域を問わずにぎわう「にぎわいとくしま」の実現

(市町村合併・地域振興、新社会資本整備)

1 清潔感と自信みなぎる「オープンとくしま」の実現

自由(フリー)、適時(タイムリー)、親身(フレンドリー)の「3リー」を基本に、
県民の皆さんとの対話を積極的に進め、
県民の皆さんとのコミュニケーションを図りながら一緒につくる県政
「オープンとくしま」の展開

このため、県政の考え方、進め方を徹底的に県民の皆さんに情報公開(公開度ランキングを当面2年以内にベストテン入り(平成14年度は28位)を目指す。)するとともに、重要課題に対してご意見を聴く「とくしま円卓会議」地域別・年代別などで気軽に意見交換する「しゃべり場とくしま」パブリックコメントをはじめインターネットを駆使した提言の場づくりを推進

県政の専門のチェック機関との健全な関係の構築

このため、県議会との対話・協調はもとより、既に発足している「汚職調査団」の答申の尊重、汚職事件の絶滅のための公共工事の入札・契約などに対する第三者機関の強化など、「クリーンとくしま」を実現

民間活力を大いに活かす、
公的分野における官民協働(パートナーシップ)の展開

このため、官と民とで役割の分かち合いを図り、新たな担い手となるNPOやNGOに対する税制面や物的支援など積極的な支援、協力を行う「とくしまパートナーシップ」を展開

新たなとくしまづくりと将来の安心につながる徹底した行財政改革
「リフレッシュとくしまプラン」の断行

このため、以下の諸施策を展開

県民の目線で仕事をする県庁の意識改革

当面4ヶ年程度の財政見通しである「とくしま財政中期展望」を策定・公表し、
財政体力に見合った公共サービス適正水準の確立など財政健全化の道筋の提示

危機管理や産業・雇用対策を行う専門的組織の設置及び民間からの外部人材の登用

第三者機関による県の外郭団体の改革

教育特区の活用による市民主体の多様な学校の開設など国の特区制度の活用
及びとくしま県版の民間、市町村が主体となった「とくしまリフレッシュ特区」
の創設



2 経済活き活き、雇用はつらつ「経済再生とくしま」の実現

とくしまの伝統産業、地場中小企業の再生を目指す 「とくしま産業再生事業」の展開

これにより、産業空洞化の中でも、木工、機械金属など徳島の伝統産業、地場中小企業から「徳島に残すべき技術」を選択し、産学官連携による集中的支援の実施

とくしま発の起業の飛躍的増加・定着を目指す 「とくしま起業倍増プラン」の展開

このため、最低資本金特例制度の活用等によるIT関連、コンサルティング、物販、新エネルギー・エコ産業など起業家・ベンチャー企業の産学官連携による育成・支援体制の充実を図り、当面4年間で起業数の3倍増を実現

豊かな食生活、食の安全に呼応する「とくしま産消連携事業」の展開

このため、農産物を多品種・少量生産する中小規模農家を育成するとともに、環境保全の観点からも中山間地域の小規模農地の耕作放棄を防止

地産地消をモットーとした「新鮮とくしまブランド戦略」の展開

このため、地産地消をモットーに県内の新鮮な農作物、水産物等の消費を拡大することによりとくしまブランドを確立し、消費の輪をさらに近畿圏、中京圏、首都圏へと拡大

福祉サービスの充実を雇用につなぐ「とくしま福祉で雇用創出作戦」の展開

これにより、子育てから介護まで、みんなが安心して暮らせる地域に根ざした福祉を推進

若年層の雇用を促進する「とくしまコールセンター」の誘致促進

このため、IT時代の到来で対象職種が飛躍的に拡大しており、特に若年層、中でも女性を対象に高い雇用吸収力が期待できるコールセンターの誘致を促進するため、税財政面、物的面など全国屈指の支援施策の展開

雇用を積極的に増やす「とくしまワークシェアリング」の導入

このため、県職員給与の見直しなどを財源として、公共部門における重点的な雇用の確保によりメリハリの効いた公共サービスの充実、さらには、民間部門へのアウトソーシングの促進

3 豊富な自然環境を活かした、「世界に誇れる」「環境首都とくしま」の実現

本県の環境政策に関する憲法ともいうべき

「環境首都とくしま憲章（仮称）」の制定

これにより、国レベルにおいて誇るべき、とくしまの豊かな自然環境の保全・創造、地球環境問題への対応など、本県における環境政策の基本的方向性を確立

環境首都とくしまに相応しい生活環境を創造する

「とくしま生活環境保全条例（仮称）」の制定

これにより、全国に先駆ける「生活環境の保全」に関する基本目標や施策・事業を総合的かつ戦略的に推進

環境首都とくしまの知的部分を支える「とくしま環境科学機構」の創設

これにより、国立大学の独立法人化をも視野に入れた産学官連携による環境分野におけるとくしまの潜在能力、位置関係（ポジショニング）対応施策などの調査・分析、立案を実施

地球環境問題への積極的な取組みを行うための

「とくしま地球環境ビジョン」の構築・実施

これにより、二酸化炭素・ごみ排出量最少県を目指し、低公害車の導入促進、化石燃料から地球に優しい太陽光、風力など新エネルギーへの転換、ゼロエミッション・リサイクルの推進による循環型社会を構築

特に、二酸化炭素など温室効果ガスの総排出量の伸び率については、2010年段階での1990年（基準年）対比で単純将来推計21%増とされるものを10%削減とする。

本県の優れた水環境を守るための

「生活廃水処理ホップ・ステップ・ジャンプ作戦」の展開

このため、逆転の発想で整備率全国最低レベルであることを最大限に活用し、下水道、農業集落排水事業、合併処理浄化槽の整備に大胆なコスト主義を導入し、面的整備を飛躍的に促進

4 南海地震対策をはじめ安心して暮らせる 「安全・安心とくしま」の実現

南海地震発生時の死者ゼロを目指す「とくしま 0 (ゼロ)」作戦の展開

このため、今後30年間で40%の発生が予測されている南海地震への即応体制を緊急に整備するため、今後1~2年の間に、厳密な被害想定及びその対応を示す地域防災計画、広域災害ボランティアなど都道府県を越えた応援体制の充実、災害スペシャリストの登用など知事直轄の専門組織の構築、身近な避難施設を整備促進

消費者重視の県産食品の認証制度「とくしま安²食品」の構築

このため、生産・加工・流通までの情報を遡って把握できる「トレーサビリティシステム」(履歴表示制度)を導入した消費者重視の県産食品の認証制度「とくしま安²食品」を構築

「安²」とは、安全・安心の略で読み方は「あん²」

子育てから介護まで、障害者もみんなが地域で安心して暮らせる

「とくしま安心ライフ」の実現

このため、ITを活かした遠隔地医療の導入や救急救命体制の整備促進、小児救急への対応、高齢者、障害者の在宅福祉の充実など健康づくりの推進と介護サービスの充実が調和した「とくしまハンディキャップ・フリー」を推進

5年子どもびのび、文化の香り漂う 「とくしまの国づくり」の実現

将来のとくしまを担う子どもたちが、各自の個性を尊重され、
ゆとりをもって学習できる環境を提供する

「とくしま子どものびのびプラン」の展開

このため、少人数学級の全県展開や中高一貫教育モデル校の増設、子どもの個性や潜在能力を尊重し、引き出す一芸入試の導入、スクールカウンセラーや学校適応相談員の計画的配置による不登校対策の推進、IT社会の先端を歩むための全公立学校へのインターネット接続、eラーニングなどIT教育を推進

働く女性、共働き世帯をバックアップする

「とくしま女性輝き事業」の実施

このため、働く女性や共働き世帯のニーズにマッチした駅前保育や延長保育、事業所内保育の推進、さらには病児保育の導入を推進

阿波踊りをはじめ

本県の誇る伝統芸能を広く国内外に情報発信するとともに、
身近に世界レベルの芸術文化に接する機会を倍増する

「とくしまきりり芸術文化事業」の実施

このため、国内外への同時発信を視野に入れた、静止画像だけでなく、臨場感あふれるライブ中継の導入など最大限のインターネット活用、本県単独ではコスト面などで誘致不可能な我が国一流、世界レベルの舞台芸術を四国各県連携はもとより、全国の地方公共団体と連携して実現



6年代、性別などを問わず、はつらつと生活できる「ユニバーサルとくしま」の実現

あらゆるステージにおける男女共同参画を推進する

「男女共同参画立県とくしま」の実現

このため、県の審議会における委員構成をはじめ、官民を問わず管理職における男女いずれの比率も4割を超えることを目標とした人材登用に配慮するとともに、育児休業の取得者の倍増を推進

シルバーの学習・社会貢献意欲の向上に積極的に対応する

「とくしまシルバーカレッジ事業」の創設

このため1年未満の短期講座だけでなく、IT、介護、環境問題などの地域課題について、1～2年程度体系的に学習できるシルバー大学、その卒業生などを対象に実習もカリキュラムに含めた専門的学習ができるシルバー大学院を創設

地球環境問題への対応など自然に優しく、障害者、高齢者を問わず
全ての人に調和した利用者側の視点に立った公共事業を推進する

「とくしま公共事業ユニバーサルデザイン推進プラン」の創設

このため、質・量はもとより、利用者重視の視点に立つなど、あらゆる角度から公共事業のあり方を見直し、既存公共施設のユニバーサルデザイン化、地域に暮らすみんなが住みやすい「ユニバーサルなまちづくり」を展開

7 地域の個性を伸ばし、都市部・中山間地域を問わず にぎわう「にぎわいとくしま」の実現

将来の徳島県のあり方を踏まえた戦略的市町村合併

「とくしま合併戦略」の展開

このため、財政難への対応など受け身の市町村合併から、将来の徳島県ひいては四国のあり方を視野に入れた戦略的市町村合併への転換

近畿圏と四国の交流拠点であるとくしまの位置的優位性を向上させる

「とくしまスーパーコリドー（回廊）」の推進

このため、ともするとバリアー（障壁）となっている本四架橋のメリットを引き出し、最大限に高めるため、通行料金の軽減化を強力に関係各方面に働きかけていくことはもとより、流通・交通体系の戦略的な改革を推進

ブロードバンド時代の到来のメリットを十分に享受するため、
高速・超高速インターネットなどITを暮らしに活かす

「e - とくしま」の実現

このため、都市部・中山間地域を問わず、個性・潜在能力をいかんなく発揮できるよう、道路、鉄道に続く第三の社会資本といわれるIT（情報通信技術）基盤整備を積極的に推進。また、ソフト面においてもIT講習会など基礎技術習得の機会を全県展開し、平成12年度途中スタート時から今後3年間（平成17年度）までの受講者数10万人突破を目指す

街にいつも笑顔と興奮が渦巻く「にぎわい活力とくしま」の実現

このため、四国初のJリーグチームの実現、野球、コンサートなど各種イベントニーズに対応した公共施設の開放と利用拡大、産学官を問わず全国、ブロック単位など大規模イベント誘致を促進

